



大阪歯科大学

兵庫県同窓会報

'96秋

54

も く じ

85周年記念募金ありがとうございました …… 村井会長 ……………	1
第39回会員大会 ……………	2
平成8年度第1回総会・役員会 ……………	3
平成7年度第1回合同役員会 ……………	11
平成8年度第1回合同役員会 ……………	12
平成8年度第2回役員会 ……………	14
分会・支部だより ……………	15
クラス会だより ……………	21
母校ニュース ……………	28



85周年記念募金

ありがとうございました

大阪歯科大学
兵庫県同窓会会長

村井俊郎

母校大阪歯科大学は本年が創立85周年に当たりますが、現在楠葉に6年一貫教育を行うための新キャンパスを建設中であり、また天満の附属病院も新しく13階建ての、おそらく歯科大学病院としては世界一の規模の病院が建設中で、いずれも今年中に完成を見ます。

そこでこれらが完成した来年、平成9年5月23日に新キャンパス完成記念と創立85周年式典を行うとともに、翌日24日には同窓会の全国会員大会を開催することになっています。

歯科界は今や、歯科医師数の急増問題などの内部的問題と医療保険制度の改革案への論議など多難な課題に直面しています。

しかし、これからの超高齢化社会の中で歯科医療が果たす役割が極めて大きいことも事実です。

長寿社会でのQ.O.Lを実現するためには歯科医療は重要である、と社会の有識層は21世紀

への道程と将来への展望の中で一様に述べています。

しかし、この期待の中には質の向上が求められているのです。

たゆみなく進歩する歯学の成果を社会に還元するのは臨床に携わる歯科医師の最大目標です。

歯科医師の社会的地位の向上と経済的地位の確保もこれらの努力によって得られるものです。

兵庫県同窓会は1,500名の会員を擁していますが、私達は同窓会本部と密接な連携を保ちながら母校の発展と会員相互の親睦をはかり、母校の学問的基盤を柱として歯科医学と医療の研修につとめ、患者さんのご期待に応えたいものであります。

このたびの創立85周年記念募金に際して多数の同窓会の先生方から多額の寄付金を拠出して頂きましたことを心から感謝申し上げまして、ごあいさつといたします。

3年ぶりに穏やかな輪広がる

～西宮分会の当番で～



あいさつする村井会長

第39回会員大会ならびに新卒会員歓迎会は、8月24日（土）午後3時から新神戸オリエンタルホテル（10階・真珠の間）に約600人が参加して盛大に開かれた。

昨年は震災のため、一昨年は全国大会を兵庫県主催で開催のため、3年ぶりの開催となり、新卒会員の歓迎も平成6、7、8年の3年分を併せて行うことになった。

大会は橋本猛伸専務理事が司会し、伊藤彰彦副会長の開会のことばの後、村井俊郎会長があいさつをした。

〔村井会長あいさつ（要旨）〕

昨年の大震災では本県同窓会も多数の被害を被ったが、全国同窓生より多額の義援金をいただき、また日歯をはじめ各府県からの心暖まるご援助に感謝申し上げます。その後、徐々に復興への道を歩んでおります。

母校大阪歯科大学は新キャンパスと病院の建設が順調に進み、来春からこの施設で教育、研究と診療が始められる。この大事業を記念して同窓会では楠葉キャンパスの時計台にカリヨンを寄付するため、目下募金を呼びかけており、

全員の協力をお願いしたい。

本日は新キャンパスと病院の完成の前祝いの意味を含めた会員大会であり、楽しく有意義な一日となるよう願っている。

このあと嘉ノ海昭吾常任理事の来賓紹介があった、来賓の祝辞に移った。

まず、奥野喜一同窓会長より「悪夢のような大震災が発生し、会員の先生方が立ち上がりに懸命の努力をされていることを聞き、頭の下がる思いで、一日も早い復興を祈念したい。





乾 杯

母校は100年に一度という大事業に取り組んでおり、これを貫徹して、21世紀へ向かっての明るい大学の展望を開くよう、同窓会は側面的に支援したい。このため、楠葉キャンパスにカリヨンのついた時計台を同窓生1万人の心として贈りたい」との祝辞があり、続いて、佐川寛典理事長・学長、長谷川博久近府県同窓会代表、登利俊彦県下各大学同窓会校友会代表よりそれぞれ震災に対する見舞いと復興に向けて励ましのことばがあった。

ついで、美田良治常任理事が42、43、44回の新卒業生10人を紹介し、村井会長より記念品が贈られ、新卒を代表して佐藤淳一君（42回）が謝辞を述べた。

このあと、安留力西宮分会長が当番分会としての歓迎のあいさつ、続いて水野康朗尼崎分会長が次期当番分会としてのあいさつをした。

ここで、岡田利雄常任理事が中原日歯会長、大島、井上両参院議員からの祝電披露があって、今井章撰津分会長の指揮で声高らかに学歌を斉唱し、小田一尚副会長の閉会のことばで大会セレモニーを終了した。

懇親会は午後4時から、佐藤輝夫実行副委員長が司会し、河村宏同副委員長の開宴のことばで始められ、まず、神戸市混声合唱団が「やしの実」「鯉のぼり」など童謡や「スワニー河」「TOMORROW」など名曲の数々を披露し、なごやかな気分になったところで、村上勝本部副会長の乾杯の発声があり、卒業回数ごとにテーブルを囲み、旧交を温めながら歓談のときを過ごし、橘精一郎同副委員長の閉宴のことばで再会を約し散会した。



新キャンパス本年中に竣工

平成8年度 第1回・総会



平成8年4月13日(土)

兵庫県歯科医師会館 5階ホール

平成8年度第1回大阪歯科大学兵庫県同窓会・総会は、平成8年4月13日(土)午後4時から兵庫県歯科医師会館5階ホールで開催され平成7年度決算、平成8年度予算など3議案を可決決定すると共に第39回会員大会について協議した。

総会は橋本専務理事の司会により、渡部副会長が開会のことばを述べた後、議長に伊藤副会長を選出し、議事録署名人に水野(尼崎)、橋川(兵庫区)両氏を指名した後、村井会長が要旨以下の挨拶を行った。

《村井会長挨拶》

平成8年度第1回大阪歯科大学兵庫県同窓会総会を開催しましたところ県下各地から多忙の先生方にお集まり頂きありがとうございます。

現在母校は85周年を迎えたが、キャンパスを建設している関係上、来年に85周年の記念式典を延期して5月23日(金)、5月24日(土)の2日間に亘って行われることになりました。5月23日(金)が大学の創立85周年の記念式典、24日(土)が大阪歯科大学全国同窓会の会員大会となる。第1回準備委員会を先般開催いたしまして来週には第2回の準備委員会を開催する予定である。準備委員長は奥野同窓会長が、副委員長は私がつとめております。

大学関係であるが本年も大阪歯科大学の入試出願者は600人であった。多数の出願者があった訳であるが、その中推薦入学は128人中28人でこれは昨年の秋に決定している。この28人中22名が大歯の校友の子弟である。母校を受験する場合、推薦入学を目指していただきたい。推薦入学の場合は試験はまったくなく高等学校の内申書だけで入学させることになっている。本

年、矯正学の木下善之介教授と、保存学の藤井辨次教授が定年退職されました。後任については教授会で選挙が行われる。

その他キャンパスの問題であるが、本年中に楠葉の学舎も天満の病院も竣工する。来年の2月に病院は移転する。楠葉は来年の4月から新しい学舎で教育を行うことになっている。当初これに要する予算は200億ということであったが、240億円位かかるのではないかと思われる。出来るだけ切りつめて完成させたいと思っている。工事は予定通り進行している。

本日は予算、決算に関する議案を提出しているので慎重審議の上、ご承認いただきたい。よろしく願います。



村井会長より表彰状を授ける学位受領者

〈学位受領者表彰〉

本年度学位受領者

氏名	卒回	地区名	受領日
宗行 平助	大18	相生・赤穂	平成7年7月31日
武田 憲明	大33	北 但	平成7年3月22日
安留 輝之	大40	西 宮 市	平成8年3月22日
田中 裕之	大39	川 西 市	平成8年3月22日
芦田 貴司	大39	宝 塚 市	平成8年3月22日
柏木 宏介	大40	明 石 市	平成8年3月22日
原 雄大	大40	加 西 市	平成8年3月22日
藤原 到	大40	洲 本 市	平成8年3月22日
井上 昌孝	大30	東 灘 区	平成8年3月27日
木村 公一	大30	北 区	平成8年3月27日
沼田 好道	大22	姫 路 市	平成8年3月27日

以上11名

各受領者に村井会長より表彰状と記念品が渡された後、沼田好道先生が代表して謝辞を述べた。

〈報告〉

1) 会務報告 橋本専務理事

会員数 (平成8年2月29日現在)

分会名	支部名	会員数
神戸分会	東 灘 支 部	72名
〃	灘 支 部	54
〃	中 央 支 部	115
〃	兵 庫 支 部	56
〃	長 田 支 部	55
〃	須 磨 支 部	50
〃	垂 水 支 部	45
〃	北 支 部	41
〃	西 支 部	19
〃	明 石 支 部	69
〃	三 田 支 部	10
尼崎分会		170
西宮分会		151
摂津分会	伊 丹 支 部	43
〃	川 西 支 部	28
〃	宝 塚 支 部	57
〃	芦 屋 支 部	40
播磨分会	三木美囊支部	14
〃	小野加東支部	13
〃	西脇多可支部	15
〃	加 西 支 部	11
〃	播 磨 支 部	65
〃	姫路神崎支部	122
〃	揖 竈 支 部	15
〃	宍 粟 支 部	13
〃	相 生 赤 穂	
〃	佐 用 支 部	26
丹波分会	多 紀 支 部	9
〃	氷 上 支 部	19
但馬分会	南 但 支 部	14
〃	北 但 支 部	20
〃	美 方 支 部	1
淡路分会	洲 本 支 部	15
〃	津 名 支 部	12
〃	三 原 支 部	13
	合 計	1,472名

物故会員

地区	氏名	卒回	年齢	死亡年月日
灘区	岡田 輝雄	専21	75	平成7年4月30日
明石市	脇屋 直行	専18	79	平成7年5月9日
中央区	北野 信治	専12	86	平成7年5月18日
西宮市	南堂十三男	専19	77	平成7年6月20日
中央区	中野 憲一	専20	76	平成7年6月26日
姫路市	松坂信太郎	京城	73	平成7年8月3日
姫路市	飯塚 昌宏	専29	69	平成7年8月3日
姫路市	瀧北 寅夫	専12	88	平成7年8月12日
中央区	磯野 耕司	専21	81	平成7年9月11日
兵庫区	高橋 安一	専10	91	平成7年10月26日
姫路市	大道宏一郎	専30	69	平成7年12月13日
明石市	長谷川幸弘	大5	64	平成8年1月8日
播磨	中村 寧	専25	73	平成8年1月11日
尼崎市	志築 照和	専28	69	平成8年1月15日
尼崎市	川岸 勝成	専28	69	平成8年1月18日
垂水区	井芹 令雄	大17	51	平成8年1月24日
西区	大村 文夫	専21	78	平成8年2月19日
兵庫区	小野 耕一	専17	81	平成8年2月25日
尼崎市	中村 弘	専8	92	平成8年3月5日
兵庫区	阪本 義夫	専17	81	平成8年3月20日
兵庫区	神原 濟	専15	84	平成8年3月21日
三木市	木村 新秀	大3	66	平成8年3月22日
宍粟郡	林 武夫	専21	83	
尼崎市	多和 敏一	専15	85	

以上24名

24名の物故会員の冥福を祈って弔意黙祷を行った。

2) 会計報告 三坂常任理事

4月9日に監査会が行われた。

3) 本部報告 橋本専務理事

諸会議

役員会 平成7年4月15日(土)

総会 平成7年4月15日(土)

役員会 諮問委員会 分会長 支部長会

クラス幹事会 平成8年2月3日(土)

平成8年3月2日(土) 第5回理事会が行われた。当日引き続き平成7年度通常総会が行われた。

事業報告

学術講演会 平成8年2月3日(土)

演題 【顎骨炎症の読影】

講師 岡山大学歯学部歯科放射線学講座

教授 岸 幹二氏

監査報告

内海監事

ここで適正と認めるとの監査報告があり、質疑なく賛成多数で可決決定した。

第1号議案 収入支出決算(別途参照)

第2号議案 平成8年度事業計画及び平成8年度収入支出予算

提案説明 橋本専務理事

平成8年度事業計画

1. 会員の学術研修に関する事項
2. 会員の福祉共済に関する事項
3. 慶弔に関する事項
4. 会報の発行
5. 各歯科大学同窓会・校友会との親睦に関する事項
6. 渉外に関する事項
7. その他目的達成のために必要な事項

第3号議案 会費の額及び徴収方法について

提案説明 三坂常任理事

会費の額 年額12,000円(2回)

徴収方法 社保診療報酬から差し引く

以上、関連議案を一括上提、質疑なく賛成多数で可決決定した。

〈協議〉

1) 第39回会員大会について

当番分会の西宮分会の安留先生より、8月24日(土)に行われる会員大会の説明があった。

以上で全日程を終了し、中塚副会長の閉会のことばで閉会した。

総会終了後5時から兵庫県中央労働センターで懇親会が行われた。

第1号議案 平成7年度 収入支出決算

提案説明 三坂常任理事

平成7年度 大阪歯科大学兵庫県同窓会 収入支出決算書

(自 平成7年4月1日
至 平成8年3月31日)

	平成7年度 決算額	平成7年度 予算額	予算との差額	
			増	減
収入の部	24,264,481	26,461,000		2,196,519
支出の部	15,478,011	24,961,000		9,482,989
次年度繰越収支差額	8,786,470	1,500,000		

収入の部

(単位：円)

科 目	平成7年度 決算額	平成7年度 予算額	比 較		執行率 (%)	摘 要
			増	減		
第一款 会 費	14,778,000	16,920,000		2,142,000	87.3	
第一項 会 費	14,778,000	16,920,000		2,142,000	87.3	
第二款 雑収入	1,210,967	1,541,000		330,033	78.5	
第一項 雑 入	66,967	30,000	36,967		223.2	
第二項 寄 付 金	0	1,000		1,000	0	
第三項 本部手数料	1,144,000	1,510,000		366,000	75.7	
(A) 当期収入合計	15,988,967	18,461,000	△2,472,033		86.6	
前期繰越収支差額	8,275,514	8,000,000	275,514		103.4	
(B) 収入合計	24,264,481	26,461,000	△2,196,519		91.6	

支出の部

科 目	平成7年度 決算額	平成7年度 予算額	比 較		執行率 (%)	摘 要
			増	減		
第一款 事務費	4,110,157	7,470,000		3,359,843	55.0	
第一項 事務費	1,460,000	1,660,000		200,000	87.9	
第二項 旅 費	376,400	1,200,000		823,600	31.3	
第三項 通信印刷費	524,500	2,600,000		2,075,500	20.1	
第四項 消耗品費	310,460	400,000		89,540	77.6	
第五項 事務委託費	1,410,000	1,410,000			100	
第六項 雑 費	28,797	200,000		171,203	14.3	
第二款 会議費	1,082,205	3,000,000		1,917,795	36.0	
第一項 会議費	1,082,205	3,000,000		1,917,795	36.0	
第三款 事業費	10,285,649	11,601,000		1,315,351	88.6	
第一項 学 術 費	480,709	500,000		19,291	96.1	
第二項 広報宣伝費	797,543	1,000,000		202,457	79.7	
第三項 福祉厚生費	0	1,000		1,000	0	
第四項 会務連絡費	926,650	1,500,000		573,350	61.7	
第五項 表彰慶弔費	1,279,948	1,200,000	79,948		106.6	
第六項 諸見舞金	3,280,000	1,400,000	1,880,000		234.2	
第七項 渉 外 費	1,020,799	3,500,000		2,479,201	29.1	
第八項 時局対策積立金	2,500,000	2,500,000			100	
第四款 予 備 費	0	2,890,000		2,890,000	0	
第一項 予 備 費	0	2,890,000		2,890,000	0	
(C) 当期支出合計	15,478,011	24,961,000	△9,482,989		62.0	
(当期収支差額)	(510,956)	(△6,500,000)	(7,010,956)			A - C
(D) 次期繰越収支差額	8,786,470	1,500,000	7,286,470			B - C
支出合計	24,264,481	26,461,000	△2,196,519		91.6	C + D

平成8年2月22日現在

阪神淡路大震災郡市区別義援金支払明細

大歯大兵庫県同窓会

被災度	義援金	支払人数	義援金支払金額
全壊	200,000	184名	36,800,000
半壊	50,000	188名	9,400,000
一部損	30,000	491名	14,730,000
合計		863名	60,930,000

郡市区	被災度			支払人数	義援金支払額
	全壊	半壊	一部損		
東灘区	24	20	28	72名	6,640,000
灘区	18	12	20	50名	4,800,000
中央区	33	26	43	102名	9,190,000
兵庫区	12	13	19	44名	3,620,000
長田区	22	11	14	47名	5,370,000
須磨区	8	12	18	38名	2,740,000
垂水区	2	5	30	37名	1,500,000
北区	2	2	21	25名	1,130,000
西区	1	1	11	13名	580,000
尼崎市	9	25	79	113名	5,420,000
西宮市	32	26	69	127名	9,770,000
伊丹市	2	7	21	30名	1,380,000
三田市	0	0	2	2名	60,000
川西市	0	3	9	12名	420,000
宝塚市	6	6	30	42名	2,400,000
芦屋市	7	10	14	31名	2,320,000
明石市	5	7	41	53名	2,580,000
三木美轟	0	0	5	5名	150,000
播磨	0	0	1	1名	30,000
姫路市	0	0	0	0名	0
洲本市	0	0	6	6名	180,000
津名郡	1	2	8	11名	540,000
三原郡	0	0	2	2名	60,000
合計	184	188	491	863名	60,930,000

本部義援金 58,000,000円
 その他義援金 1,150,000円 合計 60,950,000円
 一般会計借入金 1,800,000円

第2号議案 平成8年度 収入支出予算

平成8年度 大阪歯科大学兵庫県同窓会 収入支出予算書

(自 平成8年4月1日)
至 平成9年3月31日)

収入額 27,241,000円
支出額 27,241,000円

収入の部

(単位：円)

科 目	平成8年度 予算額	平成7年度 予算額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	16,920,000	16,920,000			月1,000円×12ヶ月×1,410名
第一項 会 費	16,920,000	16,920,000			
第二款 雑 収 入	1,541,000	1,541,000			
第一項 雑 入	30,000	30,000			預金利子
第二項 寄 付 金	1,000	1,000			10,000円×1,410名×10% 本部より過年度分100名含む
第三項 本部手数料	1,510,000	1,510,000			
(A) 当期収入合計	18,461,000	18,461,000			
前期繰越収支差額	8,780,000	8,000,000	780,000		
(B) 収入合計	27,241,000	26,461,000	780,000		

支出の部

科 目	平成8年度 予算額	平成7年度 予算額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事 務 費	7,470,000	7,470,000			
第一項 事 務 費	1,660,000	1,660,000			
第二項 旅 費	1,200,000	1,200,000			
第三項 通信印刷費	2,600,000	2,600,000			名簿印刷
第四項 消耗品費	400,000	400,000			事務用品
第五項 事務委託費	1,410,000	1,410,000			
第六項 雑 費	200,000	200,000			
第二款 会 議 費	3,000,000	3,000,000			
第一項 会 議 費	3,000,000	3,000,000			役員会・常任理事会
第三款 事 業 費	13,600,000	11,601,000	1,999,000		
第一項 学 術 費	500,000	500,000			
第二項 広報宣伝費	1,000,000	1,000,000			会報発行
第三項 福祉厚生費	3,500,000	1,000	3,499,000		
第四項 会務連絡費	1,000,000	1,500,000		500,000	幹事会
第五項 表彰慶弔費	1,200,000	1,200,000			
第六項 諸見舞金	1,400,000	1,400,000			@20,000×70名
第七項 渉 外 費	3,000,000	3,500,000		500,000	
第八項 時局対策積立金	2,000,000	2,500,000		500,000	時局対策積立金会計へ支出
第四款 予 備 費	1,671,000	2,890,000		1,219,000	
第一項 予 備 費	1,671,000	2,890,000		1,219,000	
(C) 当期支出合計	25,741,000	24,961,000	780,000		
(当期収支差額)	(△7,280,000)	(△6,500,000)	(△780,000)		A - C
(D) 次期繰越収支差額	1,500,000	1,500,000			B - C
支出合計	27,241,000	26,461,000	780,000		C + D

総会開催につき協議

平成8年度第1回大阪歯科大学兵庫県同窓会役員会は、平成8年4月13日(土)午後3時30分から、兵庫県歯科医師会館5階ホールで開催され、総会開催、第39回会員大会などにつき協議した。

役員会は、橋本専務理事の司会により、中塚副会長が開会のことばを述べた後、議長に伊藤副会長を選出、議事録署名人に美田(明石)、中塚(中央区)両氏を指名して、村井会長の挨拶にうつった。

〈村井会長挨拶〉

平成8年度第1回大阪歯科大学兵庫県同窓会役員会を開催しましたところ、年度初めの土曜日でなにかとご予定のありました所を多数ご出席いただき感謝している。後程総会が開催されるが、この総会に審議すべき案件をこの役員会でご審議いただきたいということで役員会を開催した訳であります。なお現在進行している新しいキャンパス、楠葉学舎、天満橋の新病院に

平成8年度第1回・役員会

平成8年4月13日(土)午後3時30分

についても報告については総会で詳細にご報告したい。

本年は母校の創立85周年に当たる。本来なら今年85周年記念式典を行うところであるが、現在キャンパスを建設中であるのでこれが今年中に出来上がる訳で、来年の5月に85周年の竣工記念式典、同窓会の会員大会を合わせて5月23日、24日に行うことになっている。総会の議案の審議をよろしく願います。

〈報告〉

- 1) 会務報告 橋本専務理事
- 2) 会計報告 三坂常任理事
- 3) 本部報告 橋本専務理事

〈協議事項〉

- 1) 総会開催について 橋本専務理事
- 2) 第39回会員大会について 橋本専務理事
会費の額について決定いただきたいとのことであったが全員賛成で原案通り1万円で決定した。

この後小田副会長の閉会のことばで終了した。

お知らせ

学術講演会の案内

記

日時：平成9年1月25日(土) 午後2時30分

場所：兵庫県歯科医師会館5回ホール

演題：「これからの接着性修復特に接着」

講師：藤井 辨次 大阪歯科大学名誉教授

主催：大阪歯科大学兵庫県同窓会

第39回会員大会について協議

平成7年度第1回 兵庫県同窓会役員会・諮問委員会・分会長・支部長会・クラス幹事会の合同会議は、2月3日(土)午後2時30分から兵庫県歯科医師会館5階ホールで開かれ、第39回会員大会について協議し、8月24日(土)午後2時から新神戸オリエンタルホテルで、西宮分会のお世話で開くことになった。

合同会議は、急逝された志築照和(専28)専務理事にかわって橋本猛伸(大12)専務代行の司会で進められ、中塚裕(専32)副会長の開会のことば、議長に伊藤彰彦(専29)副会長を選出し、議事録署名人に今井章(専28)、清原光次(大8)両氏が指名された。

村井会長あいさつ(要旨)

例年がない厳しい寒さのなか、ご参集いただき感謝申し上げます。

先般、残念なことに、専務理事の志築先生が病気のため急逝され、心からお悔やみ申し上げる次第です。大変長い間、同窓会のために尽力いただき、また本部との連携でも努力していただき、惜しい人を亡くし、心から哀悼の意を表したいと思う。

現在、工事中のキャンパスについては、予定通り進行しており、今年度中には、天満に14階建の病院、楠葉に新学舎が完成し、来年の新生から楠葉キャンパスで学習し、来年病院生となる新6年生は新病院で臨床実習をすることになる。また、時代の変化に対応して、楠葉の学生食堂は京阪食堂に、天満の新病院はホテルプラザにそれぞれ経営を委託することにした。

レベルの高いレストランとなることを期待している。(さらに、教授の異動、入学試験などにも触れたが省略する)

このあと、北野信治(元兵歯会長・専12)、志築照和氏ら16人の物故会員のめい福を祈って黙とうを捧げた。

(報告)

橋本専務代行が会務と本部、三坂明美(大7)常任理事が会計現況をそれぞれ報告した。

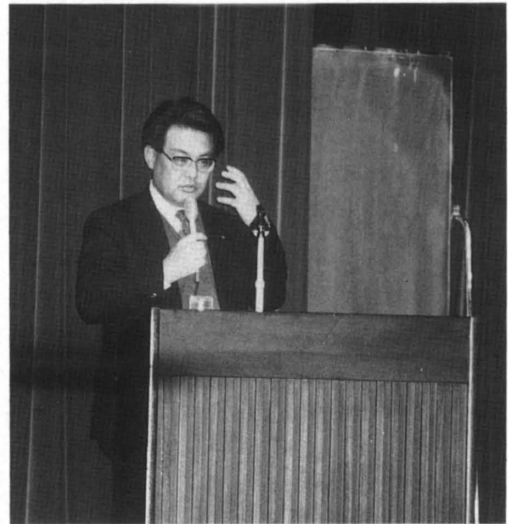
(協議)

・第39回会員大会について

安留力・西宮分会長(大5)が説明し、昨年震災のため中止した同大会を、8月24日(土)午後2時から新神戸オリエンタルホテルで開くことが了承された。

最後に、小田一尚(専31)副会長の閉会のことばで日程を終了した。

「顎骨炎症の読影」で講演会



講演する岸 幹二教授

合同会議に引き続き、同ホールで午後3時から「顎骨炎症の読影」と題して、岡山大学歯学部歯科放射線学講座 岸幹二教授(大13)を講師に招いて学術講演会が開かれた。



平成8年度 第1回
役員会・分会長・支部長会・クラス幹事会

記念募金について協議

日時 平成8年7月16日(火)午後7時
場所 兵庫県歯科医師会館5階ホール

合同役員会は橋本専務理事が司会し、伊藤副会長の座長で進められ、議事録署名人に安留力(西宮)、宮坂与四郎(中央)両氏を指名した。村井会長あいさつ(要旨)

本日は、いくつかの大事なことを相談し、また、ご協力をいただくためにご参集をお願いした。母校の建築状況では、天満の病院は14階まで仕上がり、本年中に完成し、楠葉の学舎も予定通り進捗している。

これらの竣工を祝って、明年5月23日(金)に母校創立85周年記念式典を、翌24日(土)に全国同窓会会員大会を楠葉キャンパスで開く予定である。記念式典は約700人収容可能な講堂で行われるが、会員大会には3,000人以上の参加が見込まれるので、キャンパスに隣接する駐車場に大テントを張り会場を設営する予定にしている。大阪管区气象台の情報では、過去30年間のデータで5月23日・24日に降雨がないということで、この日に決めたものである。

新キャンパスの時計台に、カリヨンベルを組み込む予定で、現在、選曲について地域住民のかたがたと相談している。

同窓会として、85周年を記念してカリヨンベル付時計台を寄贈することが役員会で決まった。後程、協議の中でご相談したいので、よろしくお願ひしたい。

さて、兵庫県会員大会だが、去年は震災のため中止し、一昨年は兵庫県で全国大会を開催したために順延し、3年ぶりに開くことになる。

新入会員の先生方の歓迎会も、3年分合わせてお祝いをしたい。

報告

- 1) 会務報告 橋本専務理事
役員出張、部会、委員会開催状況などについて報告した。
- 2) 会計報告 三坂常任理事
6月30日現在の会計現況を報告した。(資料1)
- 3) 本部報告 橋本専務理事
5月18日の第1回理事会について資料をもとに報告した。(本部同窓会報第154号に詳報)

協議

- 1) 第39回会員大会について
前回からの引き継ぎを当番分会の安留西宮会長が説明し、より一層の参加を要請した。
- 2) 新キャンパス完成記念品贈呈募金について
本部同窓会からすでに依頼書が発送されているが、心のこもった記念品を大学に贈るといふ趣旨をご理解いただき、役員は少なくとも2口以上をお願いしたい。募金のお願いとして兵庫県同窓会から振込用紙を同封して文書を発送するので、兵庫県同窓会宛に送金をお願いしたい。各都道府県単位でまとめ、本部同窓会へ送ることになっている。

以上で日程を終了し、中塚副会長のことで閉会した。

大阪歯科大学兵庫県同窓会現況報告書

(平成 8 年 6 月 30 日現在)

 $\frac{3}{12}$ ヶ月 = 25%

収入の部

(単位：円)

科 目	平成 8 年度予算額	当月分収入額	収入累計額	予 算 残 高	執 行 率 %
第一款 会 費	16,920,000	7,788,000	7,788,000	9,132,000	46.0
第一項 会 費	16,920,000	7,788,000	7,788,000	9,132,000	46.0
第二款 雑 収 入	1,541,000	0	0	1,541,000	0
第一項 雑 入	30,000	0	0	30,000	0
第二項 寄 付 金	1,000	0	0	1,000	0
第三項 本部手数料	1,510,000	0	0	1,510,000	0
(A) 当期収入合計	18,461,000	7,788,000	7,788,000	10,673,000	42.2
前期繰越収支差額	8,780,000	0	8,786,470	-6,470	100.0
(B) 収入合計	27,241,000	7,788,000	16,574,470	10,666,530	60.8

支出の部

科 目	平成 8 年度予算額	当月分収入額	収入累計額	予 算 残 高	執 行 率 %
第一款 事 務 費	7,470,000	171,740	450,438	7,019,562	6.0
第一項 事 務 費	1,660,000	70,000	210,000	1,450,000	12.6
第二項 旅 費	1,200,000	54,320	82,160	1,117,840	6.8
第三項 通信印刷費	2,600,000	46,000	93,966	2,506,034	3.6
第四項 消耗品費	400,000	1,420	48,450	351,550	12.1
第五項 事務委託費	1,410,000	0	0	1,410,000	0
第六項 雑 費	200,000	0	15,862	184,138	7.9
第二款 会 議 費	3,000,000	58,280	1,326,159	1,673,841	44.2
第一項 会 議 費	3,000,000	58,280	1,326,159	1,673,841	44.2
第三款 事 業 費	13,600,000	441,110	1,077,820	12,522,180	7.9
第一項 学 術 費	500,000	0	0	500,000	0
第二項 広報宣伝費	1,000,000	0	0	1,000,000	0
第三項 福祉厚生費	3,500,000	31,110	306,131	3,193,869	8.7
第四項 会務連絡費	1,000,000	0	0	1,000,000	0
第五項 表彰慶弔費	1,200,000	20,000	289,130	910,870	24.1
第六項 諸見舞金	1,400,000	0	0	1,400,000	0
第七項 渉外費	3,000,000	390,000	482,559	2,517,441	16.1
第八項 時局対策積立金	2,000,000	0	0	2,000,000	0
第四款 予 備 費	1,671,000	0	0	1,671,000	0
第一項 予 備 費	1,671,000	0	0	1,671,000	0
(C) 当期支出合計	25,741,000	671,130	2,854,417	22,886,583	11.1
(当期収支差額)	(-7,280,000)	(7,116,870)	(4,933,583)	(-12,213,583)	
(D) 次期繰越収支差額	1,500,000	7,116,870	13,720,053	-12,220,053	
支出合計	27,241,000	7,788,000	16,574,470	10,666,530	60.8

内 訳

科 目	金 額	摘 要	科 目	金 額	摘 要
現 金	140,422		預 り 金	190,000	
普通預金	13,769,631	さくら銀行	差引収支差額	13,720,053	
合 計	13,910,053		合 計	13,910,053	

次期兵歯会長に 村井、中塚両氏が出馬表明

日時 平成8年10月17日(木) 午後7時

場所 兵歯会館 5階ホール



募金を呼びかける村井会長

第2回役員会は10月17日(木)午後7時から兵歯会館5階ホールで開かれ、各報告の後、母校新キャンパス完成記念募金について協議し、目標達成のため、引き続き会員に呼びかけることにした。また、この中で村井会長は次期兵歯会長職続投の意志を表明し、同時に中塚副会長も立候補を表明し、それぞれを支持する役員から意見の開陳があった。

会は橋本専務の司会、小田副会長の開会のことばで始められ、議長に伊藤副会長を選出し、議事録署名人に石田(東灘)中森(明石)両氏を指名した。

〔村井会長あいさつ(要旨)〕

母校は創立85周年を迎え、これを記念してキャンパス並びに病院の建て替えに取り組んでいる。後程、これについて協議の中で詳しく述べるが、工事は順調に進行しており、14階建の病院は12月の竣工を待つばかりとなっている。

記念事業の一環として、同窓会として母校に記念品を贈るため、会員に呼びかけ募金活動を行っているが、未だ目標額を達成していない。

各分会、支部ごとに募金促進をお願いし、目標を達成させたいので、ご理解、ご協力をお願いしたい。

〔報告〕

1) 会務報告

出張報告、学術講演会(平成9年1月25日午後2時30分から、講師藤井辨次名誉教授)の案内をした。

2) 会計報告

三坂常任理事

9月30日現在の現況と会員大会会計の収支を報告した。

3) 本部報告

橋本専務理事

第1回理事会(5月18日)の資料を中心に会務報告をした。

〔協議〕

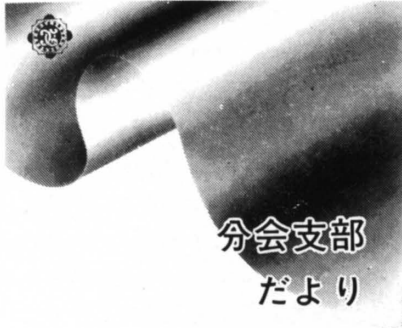
1) 大阪歯科大学新キャンパス完成記念募金について

まず、村井会長が資料をもとに、楠葉学舎、天満橋附属病院の工事の現況を説明し、病院G棟7階(約130坪)を同窓会室として無償提供を受けることから、同窓会が大学に対して記念品を贈呈(カリヨン付時計台)するための記念募金である、と前置きした後、橋本専務が各都市区別募金額達成に向け、一層の協力、会員への呼びかけを依頼した。

2) その他

ここで、村井会長の次期兵歯会長続投の決意表明があり、続いて、中塚副会長も同様に立候補を表明した。これを受け、両氏を支援する数人の役員がそれぞれの立場で意見を述べたが、中には、選挙を回避するため諮問委員会の召集を望む意見も出された。

最後に、渡部副会長が「役員は“主権在会員”の精神を忘れず、選挙によらない、より良い決着を見出して欲しい」と結んで閉会のことばとした。



神戸分会東灘支部

平成8年度大阪歯科大学兵庫県同窓会神戸分会東灘支部の総会が、平成8年7月6日(土)午後5時30分から、マンダリンパレス(三宮)にて開催された。例年、兵庫県同窓会の会員大会への出席を依頼する意味もこめて、会員大会の前に開催しているが、昨年は阪神・淡路大震災の影響で会員大会が中止となり、支部の総会も、平成7年12月16日(土)に忘年会として開催された。

司会 林 理事

1. 開会のことば 林 理事
2. 新入会員紹介 栗林甚博先生(大33回)、西川園子先生(大37回)
3. 議長選出
4. 議事録署名人名指名
5. 支部長挨拶 下井田 支部長
6. 報告事項 神田 理事
7. 監査報告 栄 監事
8. 議事
 - 1) 平成7年度収入、支出、決算の承認を求める件
9. 協議事項
 - 1) 第39回会員大会について
 - 2) 時局問題
 - 3) その他
10. 閉会のことば 小宮山 理事

報告事項

- 兵庫県同窓会東灘支部会員数
75名(平成8年7月6日現在)
- ・ 兵庫県同窓会事業報告
平成8年2月3日(土)
兵衛会館5階ホール
役員会、諮問委員会、分会長、支部長会、クラス幹事会 午後2時30分
学術講演会 午後3時
演題 「顎骨炎症の読影」
講師 岡山大学歯学部歯科放射線学講座教授 岸 幹二氏
- ・ 平成8年4月13日(土)
兵衛会館5階ホール
平成8年度第1回役員会 午後3時30分
総会 午後4時
- 東灘支部事業報告
・ 平成7年12月16日(土)
神戸ベイシェラトンホテル
総会 午後5時
懇親会 午後6時
出席者 会員30名、他校8名
- ・ 平成8年6月27日(木)
総会打ち合わせ会 午後7時30分
- 慶弔報告
・ 物故者 下井田久仁夫先生御尊父様 平成8年3月15日
- 監査報告
平成7年度収支決算の監査を行った結果、帳簿および証拠書類は整理され、収支の計算は正確である事を報告いたします。
平成8年7月2日
監事 関川 健、栄 弘毅

平成7年度収支決算

平成7年4月1日～平成8年3月31日	
平成7年度収支額	884,654
平成7年度支出額	486,325
3月末現在額	398,329

収入の部

費 目	決 算 額	摘 要
平成6年度繰越金	504,654	前年度より
年 会 費	0	
懇 親 会 費	300,000	@10,000×30名
そ の 他	80,000	来賓酒肴料
合 計	884,654	

支出の部

費 目	決 算 額	摘 要
総 会 費	457,618	平成7年12月16日
慶 弔 費	10,000	
通 信 印 刷 費	18,370	
雑 費	337	
合 計	486,325	

平成8年7月6日

大阪歯科大学兵庫県同窓会東灘支部
会計 花岡 史郎・神田 孝平

中央支部

震災から1年半以上過ぎました。激震地区となった中央区では、ビルの倒壊など街並みが一変する様な大きな被害を受けました。ビル開業の先生が多い地域のため、復旧が遅れ、今も仮設の診療所での診療を余儀なくされている先生方も多く、また診療所の再開がまだ出来ない先生もおられます。加えて企業の移転等による患者の激減で診療所経営の悪化も見られ、震災の後遺症が今も残っています。震災前の状態にもどるのに3年とも、5年ともまた10年かかるとも言われており先行き不透明な状況にあります。

中央支部は以前より会員の親睦を図ることを目的として毎年、総会と新年会をメインとした事業活動を行っています。会の運営は会員の先生方からの会費によりまかなわれています。平成7年は震災のため予定していた新年会も中止となり、また総会において平成7年度の会費徴収を免除することとしたため、繰越金のみで事

業活動を行うこととなりました。同じ地区で歯科医業に携わりながら、会員の先生方が一堂に会する機会は少なく、総会と新年会が数少ない歓談の場となっています。震災から1年過ぎた平成8年1月27日、予算の上で開催が危ぶまれていた新年会を執行することとしました。これは震災後1年間、精神的にストレスの大きかった会員の先生方の慰労のため、また復興のための情報交換の場を作る目的で行ったものです。当日は兵庫県同窓会神戸分会、また他校同窓会・校友会より多数の来賓の先生方の出席をいただき、新神戸オリエンタルホテルで盛大に会を催せたことは、当支部にとって非常によろこばしい事と思っております。会場では、震災後の暗い時期の思いを吹き飛ばすように話がはずみ、また1960年代のアメリカンポップス演奏に、ラッキーカードの抽選会にと、非常に盛り上がり、復興への士気が高まりました。

平成8年度は会費の徴収も再開、通常の運営を行うこととなりました。まだ完全な復興には期間を要しますが、会員の先生方の親睦を第一に考え、これまで以上に喜んでいただけるような事業を行っていきたいと思っています。

(阪本義之)

尼崎分会

平成8年は尼崎分会にとって悲しいでき事で始まった。昭和47年より分会長に就任、平成8年まで23年間の長きに渡り、大阪歯科大学兵庫県同窓会尼崎分会の顔として分会を率いてこられた志築 照和先生が病魔に冒され、闘病生活を余儀なくされていたが、薬石の効無く1月15日帰らぬ人となった。「あの健康そのもののような先生が…」と、分会は沈痛な雰囲気包まれ、失ったものの大きさに愕然としたものである。ここに改めて故志築分会長のご冥福をお祈り申し上げたいと思います。

分会の人事については任期が余すところ3カ月程度だったため、田村 晃副分会長がその間、



会長代理を務められ、次年度からの新分会長の選出を行うことになった。その結果、全会員の総意により水野 康朗先生が選出された。

そして新分会長の下、同窓会の目的である母校の発展、歯科医学の向上、会員相互の親睦協力を押し進め、また歯科医師会の活動に協力してゆくこと、諸先輩が培ってこられた伝統と名誉を守り、一致団結した活力と叡知で今後ますます同窓会を盛り上げるためにはどうすべきかが話し合わせ、水野分会長の指示により、それにはまず会員相互の親睦をより深めることが最も重要なので、旅行などを計画し、会員の集まる機会をより多く作ることや、同窓生が会に入会する時、相談に乗ってあげること等が具体例として見当された。

尼崎は歯科医師会員の60%弱を本学同窓生が占めており、私たち同窓会の動向が歯科医師会の活動の及ぼす影響は、ある意味では多大である。それだけに責任を自覚し、同窓会活動に対しても受け身でなく積極的に参加し、同窓会が自分に対し何をしてくれるかでなく、自分が同窓会に対し何ができるかを考えていきたいと思う。

平成9年は5月24日に第13回全国同窓会会員大会が楠葉新キャンパスで挙行されることになっている。

また第40回大阪歯科大学兵庫県同窓会会員大会も計画されており、本大会においては当方尼崎分会が当番分会となっております。関係各位の皆様にご相談申し上げつつ、分会長共々分会員一丸となり務めてまいる所存でございますので、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。
(渉外部 松岡)

西宮分会

残暑厳しい平成8年8月24日の土曜日、午後3時から新神戸オリエンタルホテルで、第39会大歯兵庫県同窓会会員大会が開催され、無事終了したことは、当番分会実行委員として肩の荷がおりた心境です。

昨年は阪神淡路大震災で中止となり、未だ震災後立ち上がっておられない会員もおられ、また、直前には全国的なO-157の問題も浮上して心を痛めておりましたが、過去最高の参加登録が得られ、多数のご参加をいただいたことは、団結の強さとエネルギーを実感いたしました。会員の皆様の参加、ご協力に心から感謝申し上げます。

当番分会のお世話も不慣れで至らない所も多々あったとは思いますが、同窓の誼でご勤弁をお願いいたします。今後ともよろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

西宮分会では、平成8年5月31日現在149名の会員数で、例年は理事会、定時総会、学術講演会、懇親会を開催、とくにイベントのない年は一泊旅行、日帰り見物などを行ってまいりました。

本年は5月末日で2年間の役員任期満了を迎えましたが、6月の定時総会で、安留力西宮分会長の留任が決まり、また役員もほぼ全員留任し、当番分会として第39会大歯兵庫県同窓会会員大会に備えてまいりました。

昨年の震災後、事業を縮小いたしました、復興に向けて努力し、少しずつ充実した同窓会に戻したいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

(H9. 5. 24)

摂津分会

大歯同窓会の皆さま今夏はきびしい暑さでしたが、このところ大変過ごしやすくなってまいりました。10月にもなりますと今年も早や余すところ3か月、何かと少しきぜわしくなりますが、ご健勝のことと存じます。

さて、大歯同窓会摂津分会は今年度6月13日に伊丹、川西、芦屋、宝塚の役員会を開き、事業、及び総会等につき協議を致しました。これにつきましては、末文に内容を報告いたします。また7月28日宝塚歯科医師会館にて、講演会を開き、オリックスブルーウェーブのスカウト部長中田昌宏氏のプロ根性、中でもイチローもやま談義を開かせていただき、引きつづき宝塚市宝仙花におきまして、摂津分会総会並びに懇親会を開催いたし、なごやかうちに終了致しました。

(摂津分会会長 加宮義郎)



摂津分会役員会

平成8年6月13日(木)

於：宝塚市歯科医師会館

司会：芦田 功一

1. 分会長挨拶 摂津分会会長 加宮 義郎
2. 報告事項 宝塚支部長 芦田 功一
 - ・大阪歯科大学付属病院改修オープンについて
 - ・大阪歯科大学樟葉総合学舎竣工について
 - ・同 記念式典について (H9. 5. 23)
 - ・カリオンベル付き時計台寄贈について
 - ・大阪歯科大学同窓会全国大会について

3. 協議事項

①平成7年度総会開催について

平成8年7月28日(土)

午後4時30分より特別講演会(宝塚市歯科医師会館大会議室)

(講師としてオリックスブルーウェーブスカウト部長、中田昌宏氏と交渉予定。)

午後6時30分より総会および懇親会(宝塚宝仙花)

今年度は懇親会費用として5,000円徴収する。

講師の選出及び講演会の開催の有無ならびに総会懇親会の詳細については宝塚支部に一任。

②事業計画について

平成8年度は会費を徴収する(平成7年度は震災により会費免除)

事業内容については従来どうり

③慶弔の扱いについて

昭和63年役員会及び平成4年役員会で確認され総会で承認されたものに以下を追加する。

(1) 会員に特別の慶弔があった場合は役員会において決める。

(2) 会員の死亡にさいしては弔慰金3万円を送る。

追加 家族の慶弔に関しては各支部で対応し、弔意としての分会からの橋料は廃止する。

④平成8年度大歯兵庫同窓会会員大会について

平成8年8月24日(土)午後3時

新神戸オリエンタルホテル

各支部で参加要請をおこない、分会からの参加要請は行わない。

⑤次期分会長選出について

次期も加宮現分会長の留任とし、宝塚支部が分会のお世話をするものとし、総会にて提案する。

⑥その他

今回はなし。

役員会出席者

芦屋支部	崎田道隆	藤本泰雄	
伊丹支部	南川嘉昌	津多 功	奥野 薫
川西支部	木南卓也	木南有宏	松村吉克
宝塚支部	加宮義郎	芦田功一	西川浩光
	藤澤昌績	吉川周志	沢 茂

芦屋分会

敦煌にて

万里の長城の最西端、嘉峪関から砂漠の中、400kmを8時間かけて車で走り、やっと敦煌に着いた。以前からこの地に何となく郷愁を感じていた。その敦煌に今年の8月末、一昨年タクラマカン砂漠を縦断した芦屋の能治佳津子先生、小野哲嗣先生ら8名のメンバーで来ることが出来た。

ホテルに着いて夕食をするとウイグル地区の羊料理シシカバブがここでは中華に変わっている。如何にも西域との接点だと実感する。

食事もそこそこにして夜市に出た。2～300mにぎっしり並んだ露店には仏像から仏具、骨董品、装飾品、陶器、芸術書から中国版ポルノ誌まで品数が豊富で、片言の日本語で声をかけてくる。店を冷やかしているうちに、値切りの交渉、これがまた面白い。まず言い値の半分に値切る。それからが値下げの駆け引き、15分かかってやっと1/4になったが、日本円に換算してみると100円足らず負けてもらった勘定だ。時間はアツと言う間に過ぎた。

翌日は、今回の旅行のハイライトである莫高窟の見学だ。なかなか日本語を話せるガイドがつかまらないそうだが、早く行ったお蔭で神戸大学に留学したことのある博学の人に当たった。

莫高窟は、敦煌の町から南東25kmの、全山小麦粉のような砂で覆われている鳴沙山の東の断崖に、4世紀半の晋の時代から造窟が始まり、14世紀宋の時代まで約1,000年間、誰れに指示されることもなく営々として、建窟が続けられ

た。最盛期には1,000窟を数えたと言われるが、砂に埋もれたりして、現在見ることが出来る窟は492窟、2,200余の塑像と、45,000㎡にもなる壁画がある。毎年交代で30窟を公開している。公開されていない窟を見るには1窟3,000円余払わねばならない。我々は公開の10窟と1万円払って特別に3つの窟を見た。

まず最初に第45窟、4m四方の窟に本尊を中心に七尊像が並んでいる。盛唐の作であるが、素晴らしい状態で残っている。見ながら説明を聞いているうちに圧倒され、感慨の余り目頭が熱くなった。平山郁夫画伯の恋人と言われる右側の菩薩は首をやや左に傾げ、腰を軽くひねった姿。白い肌にくっきりとした眉と口紅。優しい目、すっきり通った鼻、豊満な胸となだらかな肩。今にも歩き出しそうな感じだ。平山画伯ならずとも小生も一目惚れしてしまった。

唐の則天武後の時に造営された36mの北大仏は、東大寺の大仏様より大きい。長さ16mの涅槃像や、ギリシャの影響を受けた、椅子にかけ脚を交差した、交脚弥勒菩薩は日本では見られない。

壁画にも物語がある。悪業を尽し目玉をえぐり取られ、如来の慈悲で復眼すると言うインドの故事は、子供の頃祖母から聞かされた話に似て懐かしい。

とても全窟見られないので、ガイドが時代に分けて選んでくれた。初期のものはインド仏教の影響が強く、西域の影響も見られる。唐代になると、色鮮やかで華麗さがある。西域伝来のモチーフである飛天(天人)も初期のものは重々しく飛んでいる様には見えないが、唐代になると、線描で軽やかで如何にも飛んでいるようである。飛天は初期の窟から唐代まで莫高窟を飾っている。宋時代には、壁画も色はしっとりとし、華やかさは薄れてくるような感じだ。日本の鎌倉、室町芸術と似ている気がする。

何と言っても17窟は見逃せない。今世紀初め、16窟の入口の右側の壁が破れて、長い間閉じ込められていた小さな窟から、大量の古文書が見つかった。海洋航海の発達とともに忘れられていた敦煌、莫高窟を世界的に有名にした。この

窟の入口は戸一枚程で、中に入れない。広さは四帖半程度、中央に僧洪誓像、左に杖を持った樹下美人、右に扇を持った比丘尼の壁画が描かれている。覗いていると井上靖の小説「敦煌」の一節、西夏軍が攻めて来るので、貴重な經典を寺の経蔵からこの窟に運び込んでいる僧の姿が目浮かび、古代のロマンに浸り、時代錯誤に陥ってしまった。

僅か一日の見学であったが、日本中の仏像や壁画を一堂に集めた博物館よりもすごいものを見たようだ。現在、シルクロード銀座となり、近いようで遠い敦煌であるが、是非もう一度訪れたいと思っている。

(明石貴雄)

三木市美囊支部

「第18回兵庫県歯科保健大会」にむけて

三木市美囊郡歯科医師会は現在38名、内、大阪歯科大学同窓生は、13名となっております。佐本会長(大16卒)を中心とし、新年会、総会、勉強会、ゴルフ会と、2カ月に1回のペースで顔を会わせる例年と比べ、今年度は大変忙しい日々となっております。と言いますのは、平成9年度第18回兵庫県歯科保健大会を三木市で開催する運びとなり、その準備に追われているからです。内容、講演者については現在検討、交渉中ですが「21世紀へテイクオフ」をテーマにすばらしい大会になるよう鋭意努力しております。是非ご参加下さいませようお願いいたします。

また、平成10年3月には、本会創立50周年記念式典も控えております。

会員38名、チームワークも良く、活気溢れる会となっております。

同窓生の皆さま、来年度の第18回兵庫県歯科保健大会には、是非ともご出席ならびにPRの程よろしくお願いいたします。

「平成9年度第18回兵庫県歯科保健大会」概要

日時 平成9年6月14日(土)

午後1時 式典

場所 三木市文化会館大ホール

(原 公章)

淡路分会

出会い、ふれあい、思いやり

思えば随分遠くへ来たものだ。というのが正直な実感である。距離のことではない。82年という歳月の幾山河の歩みである。出会い。ふれあい。思いやり。この言葉が私の一番好きな言葉で、終生この言葉を生かし、実行して行きたいと思っている。人生は人と人との出会いに甞まると信じ、感謝している。「人は人によって人となる」とは西洋のさる有名な方の言葉と記憶している。82年の私の人生を振り返ってみて、人の出会いの大切さ有難さは身にしみ入るばかりである。若干の努力や運の良さも確かにあったかも知れない。小学、中学、歯科医専時代と幾多の出会いがあったが歯科医専時代のめぐり合った多くの人びとの教え、励まし、そして助力がなければ昭和61年4月29日の予期せぬ叙勲もなかっただろうし、今日はないかも知れない。若い頃のがむしゃらなひとりよがり、思い上がりの時代を通りすぎて、人生の熟年を感じる頃から、一期一会の大切さを、ようやく悟り、人との出会いをことのほか、有難く思えるようになってきたが、想えば直接的な教え、助力だけでなく、先輩、同僚の知恵、経験を活用させてもらった気がする。校友の皆様方に心よりの感謝を申し上げ、なによりに報いれればいいか思い惑うばかりである。

(竹谷三省)



クラス幹事 だより

専17回

おーい、叫ぶ山彦の声もいと少なし。一昨年城崎金波楼にて開かれた総会も早くも二年前のこと、時の経つのも早いものですね、学窓を去り、来年は60周年を迎えることになりました。

皆々様お元気ですか。この間戦争、ご疾病等にて故人となられました学友に対し、謹んで心よりご冥福をお祈りします。

唯今、大齒同窓会報を手にして、今は亡き岩間先生手記の、昭和62年9月16日50周年記念旅行、また、土井先生手記による平成2年4月18日伊豆旅行によるそれぞれの記事及び写真を見詰めて、とても感無量です。

今年は、代表牧野、小森、平瀬、飯塚各先生と小生の企画にて、10月23日～24日一泊、香川県塩江温泉新樺川観光ホテルにて、総会を開くことになりました。参加の方々は、先生11名、奥様16名です。

あの顔、この顔、なつかしの友よ、奥様も共に来りて語り合いです。これからも健康にご留意さえ、総会にご参加の程心よりお待ちしております。

生ある限り 美しく老いの道を歩みましょう。

(林 清徳：記)

専18回 最上の友は、同学の士

昨年1月17日未明の魔の阪神・淡路大震災には、わが同窓会員にも数多くの被災者が出、挙げて其の救援・復興活動に全力投球したため、3年振りに第39回県同窓会々員大会を開催する事となった。即ち、さる8月24日(土)、新神戸オリエンタルホテルに於いて、総勢約600名が参集、大会セレモニーに続いて西宮分会の当



番による懇親会を行い神戸市混声合唱団の昔懐かしい童謡披露を皮切りに、和気霽々の内に同窓の絆と結束を一層固め、親睦を深めた。

流石の大宴会場も満席で賑々しい雰囲気の中で、私達クラスメートが指定されたテーブルは、最古産者席となっていた。当日、出席の専18回生は在籍数8名中、大浦、竹谷、滝井、湊の各氏であったが、互いに改めて顔を見合わせ乍ら、何時の間にこんな席に座るような年になっていったのかと、改めて首を傾げる有様であった。

後輩達が笑みを浮かべつつ、入れ代わり立ち代わり次々やって来る。飲む程に酔う程に、明るく楽しく喋り続ける学友のそれぞれの姿を肴に眺め、私は、生きる躍動を新たにした。それは、若さも、健康も、長寿も、他人から貰えるものではなく、与える事も出来ない。何よりも自分自身で守り、克ちとるものだという事と。美しく生きるとは形の美しさではなく、心の問題で、人生の幾多の試練に耐え、苦難を乗り越えた友は皆、感謝報恩の念を忘れず、心の底にゆとりと、個々に生涯を貫く強い信念を堅持している魅力を感じ取ったのは、私一人ではあるまい。

人間の倅せは、物と心の調和、人と人との心のふれあいの上に築かれるものだと信じる。

平成8年12月に大崎波真治君のお世話により、大阪市平野の瑞興寺(真宗)に於いて聚蜂会物故者追悼法要が厳かに営まれ、会員、家族、ご遺族19名の方々が参列、一人ひとりの生前の面影を偲び無量の感を覚えました。平成4年12月以後に亡くなられたのは17人で、平成7年1月以後に大阪の西田良男君、田村猛君、長尾利雄君。京都の佐谷武雄君、中沢武雄君。岐阜の武藤正美君。兵庫の脇屋直行君の7人が世界されました。当日、ご列席のご遺族と共に謹んで追悼の誠を捧げ、とこしえのご冥福をお祈り申し上げます。(湊 信一)

専20回

兵庫県在住の私達の同窓は7名になってしまった。先年永内三郎、中野憲一の両名を亡くしさみしくなった。特に二人には仲良くしていたのでかなしく思っている。

震災でやられた仲間もどうやら立ちなおって診療に従事しているのは同慶の次第である。

10月10日に磯島君の子息が結婚式をあげるが、磯島君が奥野元会長の仲人で式をあげたのはついこの間と思っていたのに、早や子息が歯科医になり結婚するとはおどろきである。

月日の経つのは早いもので私達は傘寿を迎える年齢になってしまった。

どうか諸君いつまでもたっしゃでいてくれ。

(石上隆章)

専21回

昨年来の大震災のショックで、天作会の会合も二転、三転、延期したり、中止したり、同期の皆さんには大変ご迷惑をかけました。去る6月15日に、やっと会食を共にして、久しぶりの談合が出来ました。大阪の本部から尾持君も出席して頂いて、堀毛君、黒坂君、稲垣君、大塚資司君、私と6名が出席出来ました。林武夫君のお顔が見えなかった事は寂しい限りでした。

前号でご報告しました以後に亡くなられた方は、磯野耕司君、大村文夫君、林武夫君、菊山三雄君、岡田貫三君の5名です。謹んで哀悼の意を表したいと思います。卒業以来55年で150名の同窓生が71名と半分以下になってしまいました。

さて例年の総会の件ですが、昨年10月21日には、山口県防府市の桂君のお世話で、湯田温泉で一泊、第46回総会を盛大に開催致し、28名の会員と10名の奥様及び2名の未亡人計40名が出席されました。

本年は、石川県の松井宣和君のお世話で北陸山代温泉山下屋を計画しています。兵庫県からも5名位出席の予定です。

また去る8月24日の兵庫県同窓会会員大会には堀家君、黒坂君、武田君夫妻、越村君と私小

寺の5名が出席し、同じテーブルに4期が同席した事から、学生時代の昔話に花が咲いて、次々と連鎖反応を起こし誠に楽しい一時でした。

(小寺：記)

専23回

専23回生は、昭和17年9月の卒業後直ちに10月国の大事に馳せ参じ、陸海の部隊に身を投じた者も、あるいは戦時下銃後の社会に歯学研鑽に進んだ者も、減私奉公に徹して、青春を燃焼させての半世紀の人生に悔はない。



敗戦の廢墟から、今や世界に經濟先進国として、平和に貢献する程の興隆の道を歩んだ実績は自他、内外ともに評価は高く、今や子孫次世代の前に大なる誇りを以って、ものが言える現代を迎えている。

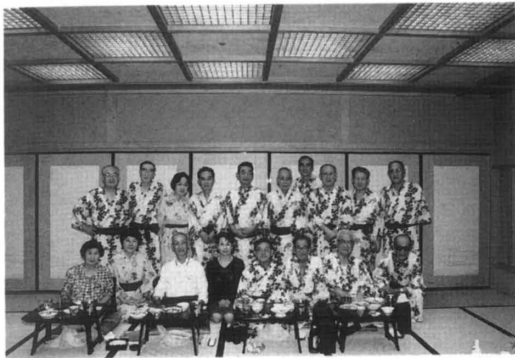
戦場に散った者、その後の病没、将又震災倒壊家屋の犠牲など、年々訃報相次ぎ、また会合の案内にも療養中あるいは夫人の看病に外泊不能とか、齢古稀もすぎ、喜寿も近い今となれば、やむなし。お大事にとひたすら快気祈念のみ。

かつては色道師範、多くの級友の開眼指導の先達者の精氣凛々の士も、今はねたきり同様と夫人代筆の頼りも侘しい。

本年度専23回同窓会総会は9月18、19日琵琶湖畔西大津料亭「紅葉」に参集。

最近物故の中田忠夫、田中善三郎両君に黙禱。泊後は遊覧船「ミシガン」で秋色の湖上観光の趣向を楽しんだ。兵庫県からは伊藤俊造君(明石)と私(伊丹)。遠来はクラス代表の角田君(埼玉)に福岡の金光 朗君先年病床に倒れた

が養生奏功、孫へのお土産の大きな荷物も嬉しい参加。



ほか中本夫妻（鳥取）、広島村田夫妻、四国新居浜の香川、名古屋の岩村君。

大阪は密度濃く青山、中島、佐々木、曲直部及び安田夫妻、笹井夫妻。総勢18名。

来年は5月の楠葉、天満橋の折念祝典行事に参加を勧誘督促し再会を確約、解散した。

（八竹良清：記）

専27回 牧陵会

残暑の候、皆さまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。例年になく暑さの厳しかった夏も過ぎ、今日この頃の朝夕はすっかり秋らしくなってきました。酷暑と共に0-157騒動もありましたが、皆さまにはお変わりなくお過ごしのことと推察いたします。

平成7年10月23日24日に高知県在住の級友のお世話で牧陵会総会懇親会が高知県中村（四万十川）で行われ、神戸人会より森鼻、高津、西原、壺坂夫妻4君と私が出席しました。



昨年の大震災に牧陵会の諸兄よりご心配をか

けましたので神戸人会より感謝の礼を述べました。平成8年8月24日大阪歯科大学兵庫同窓会会員大会が新オリエンタルホテルで開かれ、写真の方々皆元気でやっております。平成8年度の牧陵会総会は北陸の山本君の御世話で粟津温泉法師で開かれますので、お元気な方は全員ご出席をお願いいたします。われわれ牧陵会神戸人会会員も卒業時の人数の半分になり、大変さびしくなりました。皆さまお体には十分に注意して、またお会いして同窓会の発展のためにご協力をお願いします。

（専27回牧陵会神戸人会 高端友之）

専32回

兵庫県32回の皆さん今日は

残暑厳しい去る8月24日（土）午後、新神戸オリエンタルホテルで第39回大阪歯科大学兵庫同窓会々員大会が行われました。その中で42回、43回、44回の3年間の新卒10名の紹介があり、2BEに移って、クラス別のテーブル（我々のクラスは2テーブル）で和気あいあいのうち、神戸市混声合唱団によるアトラクション、時代を背景にした歌曲、「鯉のぼり、旅愁、花」等の素晴らしいハーモニーにうっとり、ふと我にかえって頭をよぎったのは、この1～2年クラス会に顔を見せない級友の増えたことが気にかかる。考えるに我々学生時代は食糧難の真最中、開業医の健康管理問題（過労）、若さ故の暴走がこの年齢になって表面化したのでは……。

これからは好奇心を燃やし「古き皮袋に新しい酒を盛る」の古諺の意を体して、過去にこだわらず現在、未来を生きて生きたいものです。来る10月19日（土）には滋賀県級友のお世話で景勝のビワ湖畔・大津プリンスホテルで第44回全国三二会総会があります本県からも10数名が出席します。

阪神大震災、最近の政治不信、苦難の歯科情勢、我々をとりまく環境は決してよくはありませんが、次の県32回の集いには一人でも多くの級友との再会を期待しながら。……ではお元気で。

（仲田：記）

大8回

仮設診療所にて

震災で診療所は全壊したが、300m程北にある菅原市場のように火災に合わなかったのが、せめてもの救いであった。3月頃までは、4月中の再開を目指していたのだが、4、5年前から当地区は兵庫駅キャナルタウン計画の一環として、街づくり協議会で“住み良い街づくり”を検討していたので、当然震災後もその延長で見直し、街づくりとして協議会にも参加していた。

ところが、建築許可申請をしても脚下されるので調査してみると、建設省が震災後少しでもお役に立ちたいとかで、国道28号線を拡巾する予算をとりつけたいということである。

したがってこの線に面している家屋は、街づくりと切りはなして、線的な考え、現在地の3/4をカット、替地か立ち退きということになり、従来考えていた後に下がってみんな高層マンションに入るという青写真が、見事はずれてしまったのである。

患者の要望を一番の後押しにして、知人の紹介で、レンタルのプレハブ仮設診療所を再開した。プレハブと言えは防音に弱いので、雨音がやかましいのは致し方ない。熱い寒いの方はエアコンのお蔭で快適に過ごさせてもらっている。

震災によって失った物も多かったが、得る物もそれ以上に多かった。それは人の心である。半年余りの休診で、更めて自分の天職は歯科医療であることを再認識した。再開に際しては友人を始め、知人、同級生、同窓生、同業者ら関係者の一方ならぬ励ましと援助のお蔭である。

阪神高速が全通したというニュースを聞き、これからは1/3も激減した長田区の人口も、少しでも早く回復して呉れることを祈る。そんな中に、新規開業者が続出するとかの話を書くと、前途多難である。何故こんなところで？共倒れするのではないかと、暗い心になる今日この頃である。

願わくは、行政上で何とか歯止めが出来ることを考えてもらいたいものだ。

(西松元五)

大13回 (兵庫登美栄会)

九州国東半島一知子観光の記

私達もいつの間にか卒後30年余を無事に経過し、年齢的にも50才代の半ばを過ぎ、一応、家族の生活も一段落し、ぼちぼちながら真剣に自分達の将来を考えなければならぬ年齢になって参りました。

震災で1年間中止していた会の活動を再開。3月に三宮の三十二間堂で総会を行って井堂孝純君をクラス会長に再選し、今後共友情とお互いの助けあいの精神を忘れず、社会の中の歯科医師としてその責任を果たすことをモットーといたしました。

さて、きびしかった今年の夏の暑さもやわらぎかけた8月末に、久しぶりに九州地方に親睦の旅行に出かけました。いつもそうなのですが、旅行社のスケジュール通りにスムーズに運んだことがなく、酒造蔵が目に付けば突然バスを止めて入り込んだり、温泉があれば汗を流したいと言いつつなど、幹事さん泣かせの旅行です。

今回も8月30日、午後7時10分、中突堤出向のサンフラワーに乗船するや、出港前から一室に所狭しと集まり、それぞれ手持ちのビール、日本酒、ウイスキー、弁当ありの賑やかな酒宴の開始。瀬戸内の島々を月明りに眺めながら深夜まで大盛況なことでした。

翌日、早朝に別府港に到着、全員前夜の疲れもなく元気に待機中のバスに乗り込み、上述のごとく一路萱島酒造に直行、古酒「西の関」を手に入れ一安心。次いで国東半島の熊野磨崖仏を見学。200mぐらい続く急勾配の自然石の乱積石段の登り下りに大苦戦、前夜のアルコールは全身滝のような汗とともにぬけさった。

昼食は別府市内の「的の山荘」でシロシタカレイのご馳走と地酒をたっぷりいただいた後、九州自動車道をいっきに佐賀県に向かい武雄温泉「京屋」でこの日は比較的静かに宿泊とする。

次の日、呼子の朝市を見たいという意見が出て有田焼見学を除く。呼子に着くと磯の香りとともに港に近い路地の軒下づたいの出店からオバサン達の勢いのよい商いの声がとびかい、それにつられるようにお土産を求めた。

昼食は河太郎にて名物イカ料理に舌づつみ。そこへこの日の朝、大阪を出発した水野康朗君が合流し、一段と賑やかな場となる。呼子で時間オーバーで唐津見学はまたもやパスとなる。この二日間バスのガイド嬢もびっくりするほどのおじさん達のパワーでありました。

博多から新幹線で無事神戸に到着。

多少、騒々しく慌しい3日間ではありましたが、仕事を離れ、タイムマシーンで学生時代にもどったような感じのうちに、いつの間にか心のゆとりを取りもどし、明日への活力を得たようなクラス会の旅でありました。

(山崎 宏)

大17回

故 井芹令雄君を悼んで

つつな会 船越 禎征

井芹君は平成8年1月24日、最愛のご家族と多くの友人、知人に見送られて旅立たれました。君が8月24日に入院して以来、君と病魔との戦いは壮絶なものでありました。そして愛する奥様や、子どもたちのために一刻も早く元気になろうと精一杯がんばってこられたのに、このようなとりかえしのつかない結果になり誠に残念でたまりません。こんなに早く突然に君とお別れするとは思っていませんでした。

君と私とのつきあいは、大学4年生の補綴実習が始まったときからでした。補綴の課題でフルデンチャー作成のため、はじめて私の家に来たときからでした。私は技工はあまり得意でなく、君が手際よくデンチャーを作っているのを見てどうしてこんなにうまくできるのか、感心して見ているだけでした。このとき私の作った下顎のデンチャーに気泡がはいり、作り直さなければならなくなりました。明日作品を提出しなければならぬし、とても1人で作る気力も自信もないし、どうしようかと途方にくれていると、君が丸山の家にくるのなら手伝ったるぞ、と言ってくれ、夜も遅いのに、あつかましくも君の家に行きました。そして君はほとんど徹夜でデンチャーを作ってくれ、そのおかげで無事、

提出することができました。これ以来、補綴実習で困ったとき、君は随分私を助けてくれました。卒業後は君は勤務医に、私は大学の小児歯科に残り、それぞれの道は異なりましたが、暇な時はよく君の家に遊びにいき、夜遅くまでとりとめのない話をよくしたものです。その後、君は縁があって垂水で開業し、地域の歯科医療に多大の貢献をされました。開業後は早くから垂水区歯科医師会の役職につかれました。そして人望も厚く、多くの後輩達の指導的な立場に立たれました。その間、診療で多忙のなか兵庫県歯科医師会の社会保険委員会の一員として長きに亘り保険指導にご尽力されました。また平成7年度からは支払基金診査委員の一員としても活躍され、今後益々の活躍ぶりを期待されていただけに、君の突然の旅立ちは誠に残念でたまりません。このように君の活躍ぶりは、私ども同窓、皆の知るところでもあり、またつつな会一同の誇りでもありました。さらに君は私共の同窓会設立後も執行部として長きにわたりお世話いただき、君の尽力でどれだけ多くの同窓が勇気づけられたことか、推し量ることができません。このような思いをこめて長い間の君の友情に感謝します。どうか安らかに眠って下さい。では、さようなら。 合掌

大25回

早いもので、大学を卒業して20年が過ぎようとしている。体力の減退に気付き、年を意識するようになった昨今、不思議と大学時代の事を楽しく思い出すようになった。

特に牧野での教養時代は自由時間も多く取れ、好きな本もたっぷり読めて、ゆったりと過ごしていたので、今から思えば贅沢な日々であったと思う。ところが聞く所によると最近では専門課程での学問の量が増えたのか、教養課程が年々圧縮される傾向にあるというのが、私はあえて教養課程の意義を強調したいと思う。卒業後の人生において自分だけの自由な時間を持つ事は非常に困難である。

仕事に追われ、日常生活苦に埋没してしま

うと時として自分を見失いそうになる。そんな時は無理でも仕事を休み、自分を開放して1人になると孤独を感じるよりむしろゆったりとした気分が蘇ってくるであろう。

ところで先日テレビを観ていると黒人開放の指導者、ネルソン・マンデラがインタビュアーに『あなたの人生にとって最も大切なものは何か』と問われて、彼は最初白い紙に『Peace』と書いたが、少し考え直して『Liberty』と書き改めて、さも満足そうに微笑んでいるその笑顔がとてもすばらしく、私は感銘を受けた。彼の言う『Liberty』の言葉の概念の中には、私の願うささやかな『自由』も含まれているような気がしたのだ。そこで私も彼に習ってこのささやかな私の『自由』を脅かすあらゆるものと、いやでも闘わねばならないのだろう。人間らしく、自分らしく生きるために。

(神戸市西区 柏木一英)

大27回 兵庫飛翔会

震災の影響で延びのびになっておりました平成7年度の兵庫飛翔会の集まりは、よやく10月28日に新神戸オリエンタルホテル34F桂林で開くことができました。眺めのよい部屋で、明るいうちは方々の屋根の上に青いシートが目立つ風景だったのですが、暗くなると眼下に復興の明りが星を散らしたように見える神戸の街を見



ながら、震災での体験、知人や肉親のことなどを語り合いました。

平成8年度は大学27回飛翔会の総会が6月29日新神戸オリエンタルホテルにて開かれましたので、兵庫飛翔会の集まりもそれに兼ねさせてもらう形になりました。飛翔会の会長である神

戸の梶隆一君の挨拶から始まり、兵庫飛翔会の井口利彦君の司会で総会がとり行われ、その後部屋をかえて懇親会に移りました。来賓として大学同窓会副会長の村井俊郎先生に御越し頂き、楠葉の新校舎や天満の病院の工事の進み具合等のお話を伺いました。当日他の会合と重なって欠席された方が多く、初めの頃こそ広い会場でややさみしい感じはしたものの、久しぶりの総会ということで、存分に旧交を温めることができました。

二次会で階上のラウンジの一角を占領したのですが、神戸の街の灯が前年にも増して明るく輝いていたのが印象に残った一夜でありました。

(橋本芳紀：記)

大31回

阪神高速道の全線開通は、私にとって大きな喜びです。地震による種々の問題は未だ多く残され、これが復興だ、と手放しに喜ぶには早いのですが、これから一体どうなるのだろうかと不安にかられた日々を思い起こすと、やはり喜ばしいことといわざるを得ません。

あの地震で、私は、父の妹夫婦と妻の母、身内を3人失うこととなりました。それらにまつわる雑事に追われながらも、私の診療所は翌週から診療を再開することができ、夢中で今日まで走って来たような気がします。

地震当日、スタッフ全員が診療所のために集まってくれました。2日間のうちに診療体制が整えられ、本当に助けられました。

また、遠方を、カセットコンロやガスボンベを背負って訪ねて来てくれた友、何度も電話で励ましてくれた友人達に大いに支えられて、様々なことを乗り越えて来ることができました。心から感謝しています。

当時、私のハイエースが、義母のための救急車となり、寝台車となり、霊柩車となって大活躍したことがうそのような今日です。

診療所やご自宅に大きな被害を受けられた先生は、今なおご苦労がおわりの事とお察し申し上げます。

いつになっても笑い話にはなり得ない地震でしたが、神戸が、阪神間が、いつの日か活気にあふれることを願って止みません。

(1983年 尼崎市クスノセ歯科医院 楠瀬昌宏)

<投稿>

震災から1年半が過ぎました。阪神高速も予想よりかなり早く全線復旧し、交通網は震災前と同じくらいになりました。私も先日、阪神高速を走りましたが走行中はあの出来事を忘れてしまいそうになりました。しかし地上には取り壊されたままの空き地があり、仮設住宅があり、一部しか復旧されていないことを感じました。そして何より心の底からの復旧までまだかなり時間が必要だと思いました。

話は変わりますが平成8年4月の保険改正により補綴物に関して「補管料」が新設されました。この「しぼり」とも思えるものは「危ない歯は抜歯した方がましかも…」という考えを導く結果にもなりかねません。歯科医師会が推進する“8020運動”の障害物にもなってくるのです。

国は消費税5%を来年4月から実施するつもりである。そうなれば歯科材料、技工料等の経

費も増加します。材料、機器類の定価上昇にもかかわらず保険点数は物価上昇分にも満たないのが現実です。それに拍車をかけて国は、患者の負担割合を改正しようとしています。保険医療というのは、所得の少ない人、老人等の負担を少なくし、費用面で安心して治療を受けられるようにするのが本来の保険ではないのでしょうか。保険診療でも負担金が大きくなれば治療を思うように受けられない人、またわれわれが患者の疾病を発見し説明しても“痛くないから”というように治療を拒む人も増えるはずです。つまりは、受診患者の減少になるわけです。収入減少、経費増加によりわれわれの生活も徐々に苦しいものになってきます。現場の開業医の意見を受け入れようとしない実情を知らない人びとに制度を決定されることに怒りのようなものを感じてしまうのは私だけではないと思います。

愚痴ばかり述べてしまいました。今後少しでも光明を見い出さすことが出来るよう一致団結して現場の意見を通していかなくてはなりません。

(ご投稿された先生のお名前が不明でした。)



故 志 築 照 和 氏

平成8年1月15日午後4時51分兵庫県同窓会専務理事の志築先生が、大阪市の済生会中津病院で心不全のため逝去された。享年69歳。

志築先生は、大正15年5月4日生れ、昭和23

年大阪歯科医学専門学校を卒業、昭和26年尼崎市において歯科診療所を開設。以来44年余の永きにわたり地域住民の歯科医療に献身的な活動を続けてこられた。

また兵庫県歯科医師会はもとより、日本歯科医師会常務理事、尼崎市歯科医師会副会長などの要職を歴任され、その功績により、2月9日付で正六位勲五等双光旭日章が贈られた。

謹んで哀悼の意を表します。

母校ニュース

創立85周年並びに新キャンパス竣工事業 準備委員会の設立

本学長年の懸案であった楠葉キャンパスの
新学舎並びに天満橋の新附属病院の建設は着々
と日程の通り無事故・無災害で順調に進捗して
いる。

本学ではこれらの完成時に本学と同窓会が協
力し、創立85周年と新キャンパスの竣工の記念
行事を予定しており、その準備のため委員会を
設立することが理事会で決定し、下記の通り委
員が委嘱された。

記

委員長	奥野 喜一	常務理事
副委員長	村井 俊郎	理事
委員	毛利 学	総務部長
〃	大東 道治	総務副部長
〃	神原 正樹	教授
〃	田治米保夫	同窓会専務理事
〃	成瀬 悟	大阪府歯科医師会 常務理事
〃	三谷 卓	大阪府歯科医師会 常務理事
〃	井堂 孝純	父兄会幹事長
〃	野口 洋司	父兄会副幹事長
〃	北川 武彦	父兄会幹事
〃	古木 深	事務局長
〃	小田 宗芳	事務部長

第1回の委員会は去る3月29日に開催され、
過去十数年の気象データ等を参考に、この最
大イベントの日程を平成9年5月23日(金)に
創立85周年並びに新キャンパスの竣工の記念行
事を、翌24日(土)に第13回全国同窓会会員大
会を楠葉キャンパスで行うことを決議した。

その後、第2回委員会ではこれらイベントの
基本計画の内容が次の通り検討され、着々とそ
の具体案が煮詰まりつつある。

記

1. 日 程 平成9年5月23日(金)、24日(土)
2. 会 場 楠葉新キャンパス
3. メインテーマ 21世紀への飛翔
一大自然に愛をこめて—をめぐして

4. 行事概要

- 1) 新キャンパス完成神事
・楠葉新キャンパス
・天満橋新キャンパス
- 2) 会場の設営
1. 受付
1. 記念式典
1. 祝賀パーティー
- 3) 施設披露見学
・楠葉新キャンパス
・天満橋新キャンパス
- 4) 記念講演 アトラクション等
- 5) 記念品
- 6) 記念写真集等
- 7) 来賓サービス行事等
- 8) その他

メインテーマの—21世紀への飛翔—は大学と
同窓会が一体となり、世界に通用する大学とし
て大きく飛躍したいとするもので、これらの内、
特に急を要するものとして記念品、特別講演の
演者(現在候補者は7名)で、それぞれの責任
者に具体案を検討願うべく次の通り責任者を決
定した。

記

責任者

サブテーマ 毛利 学、大東 道治、
神原 正樹

記念式典 毛利 学、大東 道治

施設の披露(記念講演含む) 神原 正樹

記念品(一品にまとめる) 田治米保夫

記念写真・PRの方法 井堂 孝純

来賓サービス行事 田治米保夫 成瀬 悟、
三谷 卓

感謝状(建築関係者) 毛利 学、
大東 道治

なお、今後更にこのイベントの内容が決定し、
その実施にあたっては、教職員各位のご協力を
特にお願ひする次第である。

新F棟の工事現況（平成8年7月30日現在）

新F棟の工事が始まって2回目の“天神祭”が終わった。

現在、工事は順調に進捗している。

平成8年5月24日、佐川理事長・学長他関係者多数の出席のもとに、上棟並びに安全祈願の行事がとり行われた。

上棟以後、工事は急ピッチで進み、建物の表情を作る外装も7月29日に最後のPC板の取付が完了した。

建物外観は隣のOMMビルとは趣を異なえ、重厚で質感のある表情をもっている。全方位からランドマークとしても存在感が出てきた。

2基あったタワークレーンも7月中旬1基が解体され、2基目も8月初旬には解体される予定である。

地下では最終的な躯体工事が鋭意進められ、一部では大型の設備機器の搬入・据付が行われている。

一方、地上階では各階共プランが異なり複雑な機能構成のある工事であり、工程管理のやりにくい仕事でありながら遅れなく工事は進んでいる。完成時にE棟と連絡する通路工事のE棟側の外壁貫通工事も5月の連休を利用して無事完了した。

7月24日、共用部（エントランスホール、EVホール、待合等）を含む主要室の内装材の選定について日建設計よりプレゼンテーションがあり、佐川理事長・学長他関係者多数出席のもとに行われた。

席上、佐川理事長・学長より材料選定については安全性、耐薬品適応性等の質問もあり、関心が集まっていた。

工事は立地的には非常に厳しい条件下でありながら、第三者、近隣等のトラブルもなく安全に進められている。7月25日現在約36万時間の無災害時間を達成している。

なお、7月末見込みとして

全体出来高	57.0%
建築出来高	69.2%
日程消化	72.8%

楠葉学舎の工事現況

梅雨も去り、夏本番の毎日で、作業員の顔から滝のような汗が噴き出し、時折激しく降る夕立が待ち遠しく感じられる今日この頃である。

盛夏の楠葉キャンパスから4回目の工事についての報告をお届けする。

連日35℃を越す厳しい暑さの毎日ですが、工事は順調に進んでおり、8月上旬には、各棟とも、躯体工事を完了させる予定である。

いよいよ建物の最頂部や全景が姿をあらわにいたしてきた。

講義実習棟I、II、中央研究棟では、コンクリート工事が最上階まで完了し、内部の仕上げ工事最盛期で、階段教室もその概要がわかり、仕上げ工事を待つのみである。全般に間仕切りや天井工事などと共に、各種設備工事も順調に進んでおり、また、各棟間は連絡ブリッジでつながれ、ビルの谷間を吹き抜ける風が、一時、作業員の気持ちを和ませてくれる。

図書館・厚生棟では、食堂の外壁がルーバーで化粧され、プレコンのかざり梁などの仕上げ工事が順調に進められている。

管理棟と厚生棟の中間に位置するエントランスホールは鉄骨工事が完了して、巨大な吹き抜け空間が出現し、完成すれば、総ガラス張りの「大学の顔」となることであろう。

大講堂では、大屋根のコンクリート工事が完了し、内部の仕上げ工事が急ピッチで進められており、各棟とも外装タイルの工事が順調に進められ、約70%のできあがりである。外装タイルの色調は「アースカラー」（土・自然の色という意味）を基調としており、自然環境との調和・自然との共生・地球に優しいなどの「時代を象徴する」カラーを採用しているため、青い空と植栽のみどりに、見事にマッチすることであろう。

建物工事に加えて、外溝工事が始められ、構内の給水管・排水管の埋設が進められている。駐車場の工事を含め、現場全体にわたって急ピッチで確実に、かつ「安全第一」で工事を進めている状況である。（母校校内報から）

平成8年12月1日

発行所 大阪歯科大学兵庫県同窓会

神戸市中央区山本通5丁目7-18

電話 (078) 351-4181

編集発行人 橋本 猛伸
